

プレスリリース

SOGECLAIR の子会社 OKTAL SAS とルノーがシミュレーション合弁会社 AVS SAS を設立

フランス、トゥールーズ（2017年7月4日）— ルノーとの15年以上に及ぶ共同開発を基盤に設立された AVS は、ドライビングシミュレータを活用した製品開発をさらに推し進めます。Sogclair の子会社である OKTAL の自動車部門は、この新合弁会社に譲渡されます。運転支援機能や自動運転車が広がりを見せる中、シミュレーションを利用した評価試験は極めて重要な役割を持つようになりました。新製品やサービスの開発を進め、シミュレーション・ソフトウェア業界における SCANer™（ルノーと OKTAL の共同開発製品）のグローバルリーダーとしての確固たる地位確立を目指します。

- ルノー・グループは、Sogclair の子会社 OKTAL と共同設立した新合弁会社、Autonomous Vehicle Simulation (AVS) の株式 35% を取得、OKTAL は 65% を取得します。
- ルノー・グループの Autonomous Vehicle Simulation (AVS) への出資により、ルノー・日産アライアンスの自動運転車の開発力及び評価力は強化されます。
- 上述の内容にはドライビングシミュレーション・ソフトウェアのグローバルリーダーであり、ルノー、日産、OEM、ティア 1 サプライヤ、研究機関で幅広く利用されている SCANer™ ソフトウェアが含まれます。

AVS は OEM、ティア 1 サプライヤ、研究機関向けシミュレーション・ソフトウェアやドライビングシミュレータを迅速に製品化します。

ルノー・グループは、車両シミュレーションの国際的なエキスパートであるアンドラス・ケメニー博士を AVS のシニア・サイエンティフィック・ディレクターに任命、また高性能シミュレータ、新規開発、ソフトウェアメンテナンスの指示により、その発展をサポートします。

ルノーのアライアンス・グローバル VP カスタマーパフォーマンス & CAE/テストエンジニアリングのカリム・ミキッシュ氏は、「自動運転車の開発は、車隊走行試験とシミュレーションが密接に連携して進みます。目標とするレベルの信頼性を達成するためには、試験車両は何千万キロも走行しなければいけません」と言います。「通常、これには何年もかかります。しかし車隊走行試験や加速試験方法を併用すれば、仮想試験のシミュレーションでプロセスの促進とプロジェクトタイムラインへの適合が容易になるでしょう。」

「ルノーの出資によって、SCANer Studio の自動運転車両やコネクテッドカーに向けた新機能開発の飛躍的な加速が見込めます」と OKTAL の CEO ローレント・サランクエダ氏は展望を語ります。

OKTAL と SOGECLAIR は、VULCAIN 社（M&A コンサルタント）と D'HOIR BEAUFRE ASSOCIES（弁護士事務所）の支援を受けています。